

第3次札幌新まちづくり計画と札幌市行財政改革推進プランの概要～施政方針「さっぽろ元気ビジョン第3ステージ」の実現に向けて～

1. 計画の位置づけと概要

元気ビジョン第3ステージ
まちづくりの目標 「市民のカミナぎる、文化と誇りあふれる街」

基本理念

- 創造都市の推進
- 市民自治の推進
- 時代の要請に応える行財政運営

元気ビジョンを実現する二つのプラン

第3次札幌新まちづくり計画

元気ビジョン第3ステージの「まちづくりの基本方針」に沿って、優先的・重点的に取り組む事業の実施計画

- 計画期間 平成23～26年度(4年間)
- 計画事業費 5,800億円(一財671億円)
- 事業数 300事業

《5つの政策目標》

- 子どもの笑顔があふれる街
- みんなで行動する環境の街
- 安心して暮らせるぬくもりの街
- 市民が創る自治と文化の街
- 活カミナぎる元気な街

札幌市行財政改革推進プラン

元気ビジョン第3ステージの「市政運営の基本方針」に沿って、市民自治をより確かなものにするための行政運営の実現と、持続可能な財政構造の確立に向けた実施計画

- 計画期間 平成23～26年度(4年間)
- 財政効果見込み 520億円

《取組の主な柱》

行政運営の改革	財政運営の改革
○市民力を活かす市役所	○歳出構造の改革
○組織の改革	○財政基盤の強化
○しごとの改革	○財政運営手法

2. 元気ビジョンにおける時代認識と各計画の主な取組

時代認識	取組の方向	新まちづくり計画の取組	行財政改革推進プランの取組
<p>厳しく不透明な経済状況</p> <p>世界的な経済危機を背景に日本経済は悪化しており、北海道・札幌の経済、雇用情勢も依然として厳しい状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済の活性化 ○雇用確保の取組 ○税源涵養を重視した収入確保の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ◎産業振興ビジョン重点4分野の振興 ◎成長産業の誘致促進 ◎6次産業の活性化 ◎国際芸術展の開催 ◎MICEの推進 ◎全ての区で職業相談実施 ◎都心再生の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の整備等にあたって民間活力の積極的導入 ○既存の市有建築物を有効に活用するための計画的・予防的保全への移行 ○収納率の向上 ○税源涵養の視点を重視した取組の推進
<p>人口減少、超高齢社会の到来</p> <p>札幌市においては、平成27年をピークに人口減少に転じ、平成32年には65歳以上の老年人口の割合が3割に達する見込み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少子化への対応 ○高齢者が安心して暮らせる環境整備 ○世代間のバランスを重視した財源など配分の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育所定員4,000人拡大 ◎多様な保育の提供(幼稚園預かり保育、事業所内保育所等) ◎全中学校区に常設の子育てサロン設置 ◎特別養護老人ホーム定員1,018人増 ◎救急医療電話相談窓口の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な地域での交流促進や利便性の向上(全まちセンでの住民票等の即日交付等) ○時代に即した組織体制の検討(まちセンのサポート体制等) ○サービス水準のあり方検討(敬老優待乗車証交付事業(持続可能な制度のあり方検討)等) ○保育料などサービス拡充にともなう財源確保の取組
<p>東日本大震災の発生</p> <p>エネルギーや資源の消費拡大から脱却の必要性</p> <p>地域の絆や支え合いなど社会とのつながりの重要性を再認識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○防災に強いまちづくり ○再生可能エネルギーへの転換 ○地域の絆の回復に向けた市民自治の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校の耐震補強全校実施(改築予定校を除く) ◎避難場所の備蓄物資の整備 ◎再生可能エネルギーへの転換(太陽光パネルの設置等) ◎地域エネルギーネットワーク推進 ◎地域活動の拠点整備(地区会館等整備、商店街再生) 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民への情報提供とコミュニケーションの充実(「伝わる」広報の推進、市民との対話機会の充実等) ○市民参加機会の充実(子供向け出前講座のテーマの拡充等) ○身近な地域のまちづくりの推進(区民協議会の機能充実、地域活動支援の充実等)